

平成 28 年 度



第 7 号

練馬区立旭丘中学校：発行 11月

いじめ撲滅宣言

校長 南 俊彦

先週の生徒会朝礼で生徒会長から「旭丘中学校のいじめ撲滅宣言」が発表されました。宣言は以下の通りです。

いじめを「しない」「させない」「見過ごさない」「許さない」

- ①誰に対しても思いやりと優しい心を持ち相手の気持ちを考えた行動をします。
- ②いじめを見て見ぬふりは、いじめと同じ。絶対にしません。許しません。
- ③気持ちのよいあいさつを心がけ、笑顔があふれる学校にします。
- ④悩んだら大人や友達に相談します。を宣言します。

11月14日の全校朝礼でいじめをなくすために「五つの誓い」という話をしました。「五つの誓い」は、神奈川県の中学校で先生をされていた腰塚勇人という体育の先生のお話です。腰塚先生はバスケットボール部の顧問で熱心な指導をされている先生でした。先生はある年の3月、スキーの事故で首の骨を折る大けがをしました。運良く命は助かりましたが、麻痺で手も足も動かなくなってしまうしました。行く末に絶望し、舌をかみ切って自殺も考えたそうです。その時、家族、友人、看護婦さんの力強い励ましがあり、そのおかげで、生きる希望をもち、辛いリハビリに耐え、ついには歩けるようになるまで回復しました。その中で生まれたのが「五つの誓い」です。

- ・「口」は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう。
- ・「耳」は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。
- ・「目」は、人のよいところを見るために使おう。
- ・「手足」は、人を助けるために使おう。
- ・「心」は、人の痛みが分かるために使おう。

この五つの誓いは、旭丘中学校でいじめ撲滅を実行できるヒントがあるように思います。いじめの多くは口から発する「きもい」「うざい」といった言葉です。誓いにあるように、口は「がんばれ」「ありがとう」と周りを励ますことばや感謝の言葉のために、耳は人の話を無視するためではなく最後まで相手の話を聞いてあげるために、目は相手の欠点を探すのではなく相手のよいところを見つけるために、手足は相手を叩いたり蹴ったりするためではなく荷物を持ってあげたり手を引いてあげるために、心は相手を傷つけるためではなく相手の痛みがわかるために。このように口耳目手足心の使い方を意識して、相手を思いやる優しい気持ちの空気が流れる学校はきっと「明日も行きたくなる」学校だと思います。

文化発表会 10月29日（土）

2週間の短い準備期間でしたが、限られた時間の中で精一杯準備した姿が作品展示や舞台発表の劇に表れていました。学年があがるにつれて劇が上手になっていき3年間の成長の大きさを見ることができました。作品展示では、普段の授業の成果や、校外学習で学んだことを具体的な形に表そうと苦心した様子が想像できました。



合同演劇発表会 11月5日（土）

演劇部が参加しました。演じたのは文化発表会と同じ「桜咲く、明日」でしたが、生涯学習センターの立派なホールでの舞台発表はグレードアップしたような印象を受けました。

放課後勉強会 11月15日（火）、16（水）、18（金）、21日（月）

定期考査前に勉強する機会を増やすために、「放課後勉強会」を開きました。場所は第2多目的室、内容は原則自習、ただし宿題やワークなどの学習も認めます。時間は放課後1時間です。安全管理は地元の日芸・武蔵・武蔵野音大の大学生8人に協力してもらいました。本校初の取り組みでしたが連日30名以上が参加し、多い日で40名の参加申し込みがありました。家で一人で勉強できるのが一番いいのですが、友達と一緒に机に向かうことで勉強に取り組めるようです。3学期も開設できるよう準備を進めています。



八校合同文化発表会 11月18日（金）



練馬文化センターで区内特別支援学級8校による合同文化発表会がありました。10月の文化発表会でも発表した「走れメロス」の劇を発表しました。当日は練馬文化センターの素晴らしいステージで堂々と演じました。他校の発表もよく見て、音楽に

合わせて手拍子をする場面が何度も見られました。学校での文化発表会から長い期間の取り組みでした。ご協力ありがとうございました。生徒達の自信になったと思います。

部活動の活躍

バドミントン部

Bブロック新人大会 男子団体3位 女子団体3位

（男女ともに都大会に出場しベスト16）

男子シングル5位 女子ダブルス5位（共に都大会出場）